

## 資料4

## 中学校業者弁当あっせん販売実績表

		20年度	21年度	22年度	23年度	平均	24年度
精華中学校	購入個数(年)	3	16	18	12	12.25	16
	平均個数(日)	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	業者弁当利用割合(日)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	生徒数(5月1日現在)	265	292	303	314	293.5	322
精華南中学校	購入個数(年)	631	159	691	684	541.25	117
	平均個数(日)	3.3	0.8	3.5	3.4	2.8	1.6
	業者弁当利用割合(日)	1.8%	0.4%	1.7%	1.5%	1.4%	0.7%
	生徒数(5月1日現在)	186	203	202	225	204.0	226
精華西中学校	購入個数(年)	379	389	493	443	426	97
	平均個数(日)	2.0	2.0	2.5	2.2	2.2	1.4
	業者弁当利用割合(日)	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%
	生徒数(5月1日現在)	599	641	662	692	648.5	735
3校計	購入個数(年)	1,013	564	1,202	1,139	979.5	230
	平均個数(日)	5.2	2.9	6.1	5.7	5.0	3.2
	業者弁当利用割合(日)	0.5%	0.3%	0.5%	0.5%	0.4%	0.3%
	生徒数(5月1日現在)	1,050	1,136	1,167	1,231	1146.0	1,283
昼食必要日数		193	193	197	200	195.8	71

※ 平成24年度は、7月までの実績

## 精華中学校

◎ パン販売が利用されていることが多く、弁当を購入する生徒は少ない。

## 精華南中学校

◎ 平成20年度では、購入のほとんどが3年生（H20年度卒業生）である。

◎ 平成21年度では、利用の多かった前3年生（H20年度卒業生）が卒業したため、大きく購入量が減っている。

◎ 平成22年度では、3年生（H22年度卒業生）の利用が少なく、この学年については3年間通して、弁当の購入が少ない。

◎ 平成23, 24年度では、現在2年生にあたる学年の購入が少ない。

## 精華西中学校

◎ 平成20年度では、2年生（H21年度卒業生）の購入が多い。

◎ 平成22年度では、1, 2年生、平成23年度では、2, 3年生の購入が多く、平成23年度卒業生、現在3年生の利用が多い。

◎ 平成22年度では、3年生（H22年度卒業生）の利用が少なく、この学年については3年間通して、弁当の購入が少ない。

3校を比較してみると、精華南中学校の利用率が高い。また、どの学校でも女子生徒に比べて男子生徒の利用が多い。